



筋肉と骨 LIVE!!

—— 美術モデル海斗の
美術解剖学セッション ——

2017 年
2月25日(土), 26日(日)
2日間開催

私は人間を描いている。ずっと描いてきた。だから描ける…はず。
そう言っている自分に自信が持てますか？
ホントは人体をよくは知らない、
その現実から目をそらしていませんか。
一度、人体についてちゃんと勉強を生身のモデルをよく観察し
て、実際に触ってみて描いてみて、それを自分の知識としてモノに
する努力を一緒にしてみませんか？



「知らないものは見えません、
そして見えてないものは描けません」

この状態から抜け出すには、人体の基礎をしっかり学ぶことです。

美術モデル海斗が、自身のカラダと女性モデルのカラダを対比させながら人の
カタチの解説を、時には実際にモデルに触らせてくれながら学ぶ機会 を提供

「本やインターネットの検索で勉強してみた」

けれど、ほとんどの人は「よくわからない」、と答えています。

モデル海斗は解説している部分のまさに筋肉をそこだけポンと出して見せてく
れます、女性だとそれがどこにあるのかも示してくれます、触らせてくれます。

開催詳細は次ページをご覧ください

初級コース

日時：2017年2月25日（土）

09:30～12:30 午前は基礎編

13:30～16:30 午後は応用編

■午前の部 基礎編

- ・ヒトの形の成り立ちとは。
- ・各部の名称、機能、
- ・ジョイント（関節）の動きの基本と動き方の観察
- ・【人の性的二形】とは ～ 男女の基本的な違い
- ・筋肉の起始場所と停止場所
- ・パート別のスケッチで理解を沈着
- ・Q & A

■午後の部 応用編

- ・各部分ごとのスケッチでの掘り下げ ～ 男女モデルを観察して
- ・【肩甲骨腕リズム】を知ろう ～ 背中と腕の関係
- ・手先、足先の解剖学 ～ 繊細な表現の為に。
- ・骨盤と背骨の動きの相関性
- ・上方から俯瞰した人体の観察
- ・「360度フライアイスケッチ」で人体の立体感をつかむ（男女モデル両方を多方向からスケッチ）
- ・Q & A

中級コース

日時：2017年2月26日（日）

09:30～16:30 より高度なレベルに挑戦

※昼休みは12:30から13:30まで

- ・動いている人間を描けるようになるための基礎知識
～背骨、肋骨、肩甲骨、骨盤、上肢、の動きのおさらい。
- ・背中と腕の動き方、見え方の相関関係。
- ・姿勢とはどこから来るのか。
- ・立つとはどういうことか
- ・ヒトの歩き方～ 止まっているような絵になるのはなぜ？
- ・動感の源、スムーズな表現の為に。
～抱きしめる（愛情）、押し返す（拒絶）、腰を引く（躊躇、恐れ）、
振り返る。。 などなど
- ・ムービングクロッキーしてみる ～動いている男女をみっちり描く
- ・Q & A

登場モデル

男性モデル：海斗

美術解剖学会（東京藝術大学内）幹事。

日本にてアトリエ路樹絵（京都）の総合プロデューサー兼美術モデル。
日本アニメーター演出協会（J A n i C A）にて美術解剖学教育実施。
その他東京藝術大学、成安造形大学、日本美術解剖学会、アニメ系
専門学校などにて講義やセミナー開催多数。

「モデル海斗」のHPにも詳細が出ています。

<http://artmodel-hiro.com/> モデル海斗 検索

女性モデル：選定中

※海斗と同じく美術に造詣の深いモデルを選定します。

お申し込みの方へ

■参加費

1日のみ 8,000円（学生：5,000円）

両日とも 15,000円（学生：9,000円）

*「学生」は、高校生・専門学校生・大学生・大学（院）受験を目指す
予備校生を指します（社会人学生は除く）

■定員： 20名（先着順受付、定員になり次第終了）

■持参物：スケッチブック、鉛筆

※当講義では、参加者の方にクロッキーを描いて頂きます。
会場での画材レンタルはありません。
必ず上記画材を持参頂きますようお願い致します。

■申し込み・問い合わせ：kaito3021@gmail.com

※ご氏名、参加希望の日、参加区分（一般・学生）をお伝え下さい。

■場所

江東区文化センター 工芸室

〒135-0016 東京都江東区東陽

4-11-3

地下鉄東西線「東陽町」駅から徒
歩10分ほど。

